

新 潟 縣 公 民 館 月 報

(昭和33年3月18日第三種郵便物認可)

昭和39年9月1日(毎月1回1日発行)
 発行所 新潟県公民館連絡協議会
 【新潟市一番堀通町・県教育庁社会教育課内】
 【電話(新潟)85511の624】
 【振替(新潟)4094】
 発行人 飛 田 一 郎
 (定価 1部15円)
 9月号 (139号)

秋の交通安全運動はじまる(九月十五日〜二十四日)

災害義援金拠出市町村名

市 町 村	口数	市 町 村	口数
豊浦村	18	畑野町	30
築地町	3	野野町	23
須戸町	25	小野木町	21
小松町	18	羽茂町	10
横越町	18	泊岡村	17
亀田町	15	高岡市	51
弥彦村	12	三条市	121
分水町	10	田崎市	53
吉田町	20	発条市	63
巻町	33	新津市	40
中口村	10	新日町	25
栄村	12	十日川市	10
出雲町	20	魚井市	81
山古志村	10	新井市	45
北魚沼公連村	10	五泉市	22
広神日町	28	両津町	19
六西姫村	37	計	1,151
川牧村	8	三重県公連	5,000円
能立村	26	山梨県公連	2,000
相模村	20	貝塚市公民館	31,350
名立町	27	全公連	42,500
能生町	19	全公連寄託	25
海川町	29	道府	47,770
和田町	11		
井田町	20		
井田町	23		
新井村	10		

続々 救 援 活 動

新潟地震被災者への救援活動は、かずかずの義談を生みながら、いまでも県内はもとより遠く諸外両からも暖かい心づくしの物品あるいは義援金があふれ、賑わいを見せている。全国の公民館関係者からも、直接間接、本会まで、献金もった義援金などが送られ、感涙させられている。そのひとつの例を紹介し被災者にかわりの感謝の気持ちを述べたい。

積る友情の義援金

貝塚市公民館からも汗の三万余円

過日、大阪の貝塚市「くささい」と三万三千五百五十円を配分については市中央公民館員として知られている人。チャリティの被災者へ差し上げることになり、活動家と

新潟地震被災者への救援活動は、かずかずの義談を生みながら、いまでも県内はもとより遠く諸外両からも暖かい心づくしの物品あるいは義援金があふれ、賑わいを見せている。全国の公民館関係者からも、直接間接、本会まで、献金もった義援金などが送られ、感涙させられている。そのひとつの例を紹介し被災者にかわりの感謝の気持ちを述べたい。

第一次義援金配布先

市 町 村 公	金額	市 町 村 公	金額
栃尾市	16,000	村上村	4,000
山北村	3,000	月島村	1,000
豊米町	1,000	神林村	7,000
新潟市	13,000	和島村	2,000
黒埼村	2,000	見附市	5,000
粟島村	2,000	計	82,000
水原町	4,000	県社教図書館	7,000
関川村	5,000	新潟地震の部	11,700
三島町	11,000	記録	30
与板町	6,000	雑費	4,250
		残	10,150

9月の歴史

大杉 栄

1933年9月16日、この日關東大震災の混乱中、甘粕大尉に贈られた無政府主義者、労働者の自主的運動を激励し、ボルシェヴィキとの共同戦線を築く

諸君の芸術は老人の芸術であるわれわれがわれわれの晩年にわ

の企画実施より、今後の公民館活動への深い支援を乞うているものと思われる。

目 次	頁
オリンピック推進国民運動	P. 2
健民運動にカンフル	P. 3
ある主婦への返信	P. 6
アイディアを生かせよう	P. 7

オリンピック推進国民運動

—その重点目標と社会教育の役割—

交通三悪 (酒よい・無免許・最高速度超過) 追放

オリンピック東京大会ももうすぐだ。東京大会を成功にみちびくことは、将来の日本のためにも深い意義をもっている。このため、社会教育の果たす役割もきわめて重要である。社会教育の特色を生かして積極的にオリンピック国民運動に努力する体制を整えることが望まれている。ここにふたたびその重点目標をかかげ活動への参考としたい。

1. 運動の目的

オリンピック東京大会の開催に当って大会の意義を国民に周知徹底し、国民各々がこの大会に対し積極的に協力する気運を高めるとともに、これを機会に開隆国にふさわしい心身ともに健康な国民の生活態度および社会的環境を国民の手によって造成する運動を充実強化することを目的とする。

2. 運動の性格と内容

(1) この運動の内容は国民一人一人が家庭、学校及び社会のそれぞれの場所においてみずから問題として心がけるべきことであるが、このような気運を醸成しそのための環境と条件を整備するため広く民間諸団体とともに国民一体としての運動を展開しようとするものである。

(2) 運動の内容はオリンピック精神の普及高揚及び市民性の向上をはかることを主眼としその具体的内容の主なものは次のとおりとする。

(1) オリンピック理解運動

- ア、オリンピック精神を正しく理解すること。
- イ、スポーツマンシップの高揚をはかること。
- ウ、オリンピックマークを尊重すること。
- エ、スポーツを正しく見る態度を養うこと。

(2) 国際理解運動

- ア、日本人の品位を保ち、外国人が日本人を正しく理解するようにすること。
- イ、国際理解を深めるとともに、外国人に対し平等

- に接する態度を養うこと。
- ウ、国旗、国歌を尊重すること。
- (3) 公衆道徳高揚運動
 - ア、人に親切にすること。
 - イ、公徳心を高めること。
- (4) 商業道徳高揚運動
 - ア、暴利をむさばらないこと。
 - イ、悪質の品物を販売したり、不正のとりひきをしないうこと。
- (5) 交通道徳高揚運動
 - ア、安全運転を徹底すること。
 - イ、人も車も交通道徳を守ること。
- (6) 園土美化運動
 - ア、住んでいる町や村を美しくすること。
 - イ、環境をよくし、風紀をたたずること。
- (7) 健康増進運動
 - ア、スポーツに親しむこと。
 - イ、日常生活に健全なレクリエーションをとりいれること。
 - ウ、環境衛生を向上すること。

3. 運動推進の組織と方法

- (1) 関係省庁及び関係団体をもって構成する「オリンピック国民運動推進連絡会議」(以下「連絡会議」という。)を総理府におき、推進連絡にあたる。
- (2) 連絡会議は、必要に応じ部会を設けて運営する。
- (3) 推進にあたっては、関係団体等の自主的な活動を中心とし必要に応じ協力する。
- (4) 推進の方法は、広報媒体の活用、教育機会の提供行事(集会)の実施、団体活動の推進、職ま域または地域組織を通ずる活動の推進及び必要な行政的措置等とし、昭和38年8月、10月、昭和39年1月、6月、9月、10月に重点をおく。
- (5) 各都道府県においても、これに準じた組織を設け都道府県の範囲における運動の推進にあたるよう協力をもとめるものとする。

新潟国体をふりかえる

小杉 説次郎

県大会の主会場である新潟会場 仮設スタンドも、ギャラリも場の状況は逐に見守る機会を三日間を通じて、立錫の余地を得なかったが、当局における鋭く、場内整理にあたった青年団道大会は、総合してまことに立派に予想以上の苦勞をさせた。派にできた各方位から絶讃をどの盛況のうちに終結した。この皮肉を収め得た原因を考えてみた。

会場地として、会場はもろろん宿旧後伴、轉送に歓迎迎撃等部門とも見事な成果を挙げることができた。ただ、いさか淋しかったのは、花いっぱい運動であった。時期的な不利もあつたが、私の手の打ち方が極めて低調であつたことが最大の原因と反省しているが、それにもかかわらず、団体に対する一般のムードは意外にも上りついでいたので、個々の家庭においては相対的に自発的に努力してくれたいことを感謝している。

一車吹けど踊らずとなくけいていたが、ようやく団体旗リレーが、五月廿六、廿七、廿八の三日にわたつて全市内を走破するところから、にわかになつたというよりも爆發的にも上がりをみせた。

この結果は六月七日、八日、九日の三日間剣道会場の観らんば、大きな事業も立派に遂行で者の熱い反映した。従来秋田、きくことをおたがいに改めて臨岡山、山口の三県の大会における剣道会場の観らんばは、きわめて少ないときながらも、考慮中である。(村上市中央公

二、市においては、団体協賛のために、相当無理と思われるほどの募金を完遂してこと三、婦人会員をはじめ、全市婦人層が一致して文字どおり涙ぐましい努力を続けられたこと。

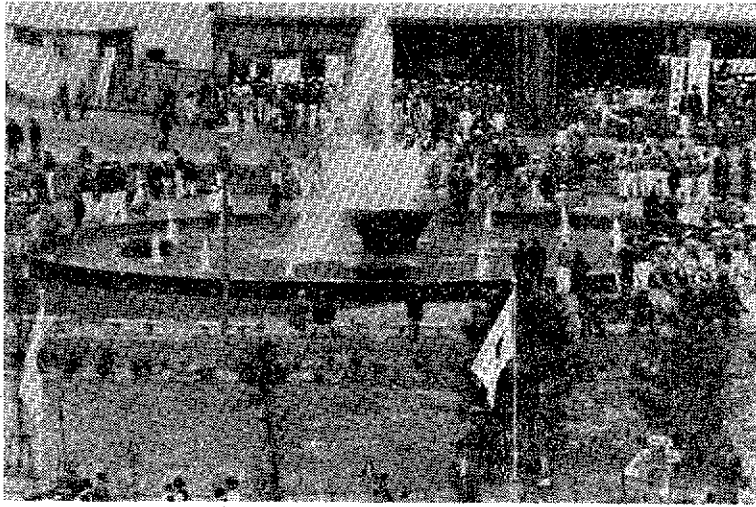
四、村上市中学校のバンド演奏隊、村上市小学校の鼓笛隊、桜ヶ丘高校生のバンド隊によるムードの盛り上げ。

五、それを統括し、後援を忘れて奮闘した団体事務局長を以て主体として市役所職員、市民各層の心からの協力、この結果から考へられることは、力を結集すれば、大きな事業も立派に遂行できることをおたがいに改めて臨岡山、山口の三県の大会における剣道会場の観らんばは、きわめて少ないときながらも、考慮中である。(村上市中央公

民館長・木合理事)

雨天、晴天

9. おやじ教育の巻 うつぎ、かす



(国体を記念して白山に建設された大噴水も地震で破壊されてしまった。写真は開会式当日撮影のもの)

健民運動にカンフル

高田で推進要項練り直す

高田市民中央公民館では団体後における健民運動の実践こそ大切だと、このほど高田市民中央公民館で健民運動推進要項を再作成し、趣意の徹底をはかることになった。健民運動も新潟地震後にはかく乱れがもたらしているといわ

健民運動推進要綱

主 旨

新潟団体は、世紀の華を飾って成功のうちに終了したが、相次いで、新潟地震と豪雨水害で二五〇万県民は天災にみまわれた。さいわい、国体における健民運動の浸透が、これらの災禍をのりこえることができた。この貴重な体験を生かし、新たなしい可なり、村々への推進に、さらに健民運動を展開して行くものである。

実践要項

四月 花いっぱい運動
各町内会・各種団体で花壇を設け町や市を

花いっぱいにする。
五月 環境衛生運動
紙くすのない町、赤痢のない町にする。

六月 視聴覚研究大会
健民運動の推進を、視聴覚器材・教具を利

用してもり上げる。
健民運動モデル地区の発表をあわせて行なう。

七月 登山のつどい
正しい夏山登山の指導を、健康増進をかねて行なう。

七月 花壇コンクール
花いっぱいの花壇のコンクールを行なう。
八月 市民体育大会

団体関係地の競技種目を中心として、スポーツの振興をはかる。
九月 生活改善展
衣・食・住の生活合理化の運動を普及する。
十月 市民大学講座
市民の教養講座として、自治体の当面の問題や今後の課題について学習する。



一新着録音教材紹介

ことばは母国語のふたつ、一種一七五〜三すくなく千一の記号である。不正確に使われる場合……す……ま……ち……が……い……つ……泣……き……を……ば……あ……ら……わ……さ……す……と……い……ふ……こと……は……正……し……い……発……音……で……泣……い……一七四〜一十「ことばと人」でも無誤でつづらせます。

ことばとは話し人のすべてが現れる。相手と時と物とをさわし、意識と責任をもちつづら試みる。積極性をこの中に

(以下略)

復旧費現地調査決定額表

〔調査官 文部省竹内信雄 岡部稔成 昭和39年8月15日〕
 (面積の少数点以下の端数は省略) 〔大蔵省 小川忠郎 (単位千円)〕

調				査				土 地 復 旧 費	工 作 物 復 旧 費	設 備 復 旧 費	復 旧 工 事 費 合 計												
全壊申請に対して		半壊申請に対して		補修復旧	小計	補修復旧	小計																
新築	復旧	新築	復旧																				
面	積	工	事	面	積	工	事	面	積	工	事	面	積	工	事	面	積	工	事	面	積	工	事
						36	1,341					36	1,341	0									1,341
												0	0										0
												32	225	0									225
						54	1,992					54	1,992	0									1,992
												1,129	3,018	0	0								3,018
												186	887	0	0								887
												192	387										387
												0	0										0
												176	422	0	0								422
												89	253										253
												45	834										834
		98	3,625									98	3,625										3,625
												80	1,230		0								1,230
												0	0										0
												225	5,842										5,842
												592	31,319										31,319
																							0
			3,625				3,333						7,256		14,214	0	0	0	0	0	0	0	14,214
													37,161		37,161	0	0	0	0	0	0	0	37,161
			3,625				3,333						44,417		51,375	0	0	0	0	0	0	0	51,375

第15回新潟県公民館大会要項

1 趣 旨 われわれは過去数回において、まづわが
 社会構造の変化と産業経済の進歩のなかにあつて
 地域社会の生活文化の発展に資するため公民館は
 いかにあるべきか、について研究討議を重ねてき
 た。その結果、現状の反省と将来への展望に多大の
 効果をおさめた。しかしながら公民館をめぐる諸条
 件を改善してゆくには、いまだ種々の問題がたふ
 さがっている。われわれはこの壁を打ちもよぶため
 本年もいっそう研究をすすめる全国共通主題である「
 公民館は住民のよりよい生活と明るい社会を築くた
 めにどのように経営すればよいか」を研究し、本県
 公民館の水準向上に努力することをも社会教育の盛
 興に寄与せんとするものである。

2 大会 主催 新潟県公民館連絡協議会、新潟県教育委
 員会、高田市教育委員会
 3 主 管 上越地区公民館連絡協議会
 4 主 援 新潟県市長会、同議会協議会
 5 後 援 新潟県市長会、同議会協議会、同町村会
 同町村協賛会、県連青県連婦連、県PTA連絡協
 会、県新生活運動協会、県市町村教育委員会連合会
 県社会教育委員連絡協議会、NHK新潟放送局、新
 潟放送、新潟日報社、朝日新聞支局、毎日新聞支局
 新潟新聞支局、サンケイ新聞支局、信濃毎日新聞高
 田支社

6 期 日 10月4日(日)10月5日(月)
 7 会 場 高田市 厚生会館(中央公民館)
 8 参 加 者 市町村公民館長、同公民館主事
 館運営協議会委員、市町村長、同議会議員、市町村
 教育委員会及び関係職員、同社会教育委員、同社会
 教育主事、同青年団員、同婦人会員、同PTA新
 生活運動、公明選挙、若者推進運動関係者、同学校
 長及び教職員、一般希望者

9 記 念 講演 「社会教育の課題」 講師 元文部大臣
 前広島大学学長 森戸辰男先生
 10 シンポジウム テーマ 今後の公民館の経営について私
 はどう思う 講師 新潟大学教授 玉井成光氏
 教育次長 吉川浩次氏、新潟日報論説委員 成沢猛
 氏、司会 高田市社会教育課長 中山克己氏

県公立社会教育施設災害

〔右ページ右端「復旧工事費合計」欄が当局の査定額で、この額の3/5程度が補助されることになっている。〕

設置者名	施設名	甲 請												
		新築		復旧		補修復旧		土復工費	地復工費	作旧費	設復工費	備旧費	復工合	旧費計
		面積	工事費	面積	工事費	面積	工事費							
黒埼村	小平分館			37	1,690				7		()		1,697	
"	棚作分館					26	1,282		5		()		1,287	
"	善久 "					32	1,536		6		()		1,542	
"	立仏 "			54	4,404				8		()		4,412	
水原町	中央公民館					1,129	3,536			250	(20)		3,806	
豊栄町	"					186	1,162		13		(84)		1,259	
村上市	"					192	641				()		641	
"	山辺里 "					60	276				()		276	
山北村	中央公民館					176	524				()		524	
与板町	横原分館					89	409				()		409	
新潟市	坂井輪 "					45	1,858				()		1,858	
"	沼垂図書館	98	6,827								()		6,827	
"	舟江 "					80	1,483				(200 1/10)		1,683	
"	山ノ下 "					29	105				(2,200 3/10)		2,305	
新潟県	青年の家					225	8,666				()		8,666	
"	図書館					592	38,809				()		38,809	
											()			
市町村計			6,827		6,814		12,812		39	250	(2,504)		28,526	
県計							47,475				()		47,475	
合計			6,827		6,094		60,287		39	250	(2,504)		76,001	

日	第2日	第1日	月
時	10月5日(月)	10月4日(日)	時
9.00	部会報告		
10.00	知事講演		
10.30	シンポジウム		
11.30	講評		11.00
12.00	視察見学(希望者)		12.00
	式典(開会式、閉会式)		1.00
	記念講演		2.40
	郷土芸能紹介		3.00
	部会討議		5.30

第1部会(市分室・旧公民館)
 住民のよりよい生活と明るい社会を築くために公民館は国民運動(新生活、公明選挙、貯蓄)健民運動などのように展開したらいいか。
 助言者 県教育次長 吉川浩次氏
 問題提起者 県社会教育主事 二名
 司会者 津勝愛氏(新潟) 中村忠氏(新井) 五十嵐二郎氏(吉川)
 記録者

第2部会(ホール)
 住民のよりよい生活と明るい社会を築くために公民館は社会教育関係団体との共同に関連をもつべきか。(その役割と発展について)
 助言者 新潟大学教授 玉井成光氏
 問題提起者 県社会教育主事 二名
 司会者 丸田昭三氏(柏崎) 下村 敏氏(高田) 船崎 回氏(高田)
 記録者

第3部会(第二会議室)
 住民のよりよい生活と明るい社会を築くための公民館の行財政はどうあるべきか
 (・職員の仕事内容と待遇の適正化・市町村では社会教育施設の名に公民館名のように位置づけ配当を適正ならしめるか)
 助言者 新潟日報論説委員 成沢 猛氏
 問題提起者 県社会教育主事 二名
 司会者 小杉誠次郎氏(村 上) 平井康 夫氏(新 井) 竹内十四雄氏(妙高/原)
 記録者

11分 科 会 主題(大主題と同)

